

「脳神経外科より見た頭痛 ―くも膜下出血・脳腫瘍を中心に」

慶應義塾大学医学部脳神経外科 助教授 吉田一成

脳神経外科医が扱う頭痛は、くも膜下出血や脳腫瘍などのように、主に外科的治療を必要とする、生命を脅かすような、重篤な頭蓋内疾患の一症状である場合が多い。一方、軽微な頭部外傷後、2, 3 ヶ月たって、脳と頭蓋骨の間に、血液がにじんで貯留する慢性硬膜下血腫が頭痛で発症することもある。また、正確には頭痛とはいえないが、顔面の痛みである、三叉神経痛の一部には、外科的に治療が可能なものもある。

くも膜下出血は、脳卒中の一種であるが、脳出血や脳梗塞と異なり、高血圧、動脈硬化、糖尿病などの全身疾患とは無関係に発症し、通常健康診断ではまったく異常を認めない人でも、突然発症する可能性がある。しかしながら、くも膜下出血の原因ははっきりしており、そのほとんどが、脳動脈瘤と呼ばれる、脳底部の太い動脈にできたコブの破裂である。くも膜下出血を起こした患者の 4 割前後は、死亡し、最善の治療を行っても後遺症なく回復する人は 3 割前後である。くも膜下出血に対する治療は、動脈瘤をクリップでつぶす開頭手術や、動脈瘤の中にコイルを詰める血管内治療であるが、その主な目的は、高頻度に起こる再出血の予防であり、出血そのものに対する有効な治療法はない。したがって、治療の目的は、軽症、中等症のくも膜下出血の患者の再出血を防ぐことにより、生命を救うことである。くも膜下出血の頭痛は、動脈瘤の破裂であるから、軽症の場合でも、ある瞬間に発症する突然のきわめて激しい頭痛であり、ほとんどの場合、嘔気、嘔吐を伴う。前兆はないものと思っていた方がいい。近年、MRA の進歩により、脳ドックなどにより、くも膜下出血を起こす前の、いわゆる「未破裂脳動脈瘤」が発見される機会が増加した。くも膜下出血の治療の目的は、再出血の予防であることから、「未破裂脳動脈瘤」を治療すれば、くも膜下出血を予防することができる。ただし、「未破裂脳動脈瘤」のくも膜下出血発症率は、年間 1-2% であり、一方、脳動脈瘤の治療のリスクは、開頭術も血管内治療も 1-2% の合併症のリスクはあることから、脳ドックを受診する場合には、あらかじめそのことを知っておいた方がいいかもしれない。

脳腫瘍は、脳神経外科医が治療する、重要な疾患のひとつである。”morning headache” と呼ばれる、起床時に強い頭痛、嘔気を認め、しばらく起きていると軽減し、週単位、月単位で悪化する頭痛は、脳腫瘍による頭蓋内圧亢進症状であることがある。立位より、臥位の方が脳圧は高くなるため、慢性頭蓋内圧亢進症の場合は、起床時に症状が強くなる。脳腫瘍の診断は、CT、MRI を施行すれば容易である。髄膜腫のような良性腫瘍では、巨大な腫瘍であっても、摘出術により根治できる場合が多い。一方、神経膠芽腫や、近年増加しつつある中枢神経系原発悪性リンパ腫などのように、早期に発見されても、根治の難しい腫瘍もあるが、胚細胞性腫瘍では脳室内播種を期待した進行例でも、化学療法や放射治療により完治可能な場合もある。

慢性硬膜下血腫は、軽微な頭部外傷の 2, 3 ヶ月後に発症し、比較的高齢者に多いことか

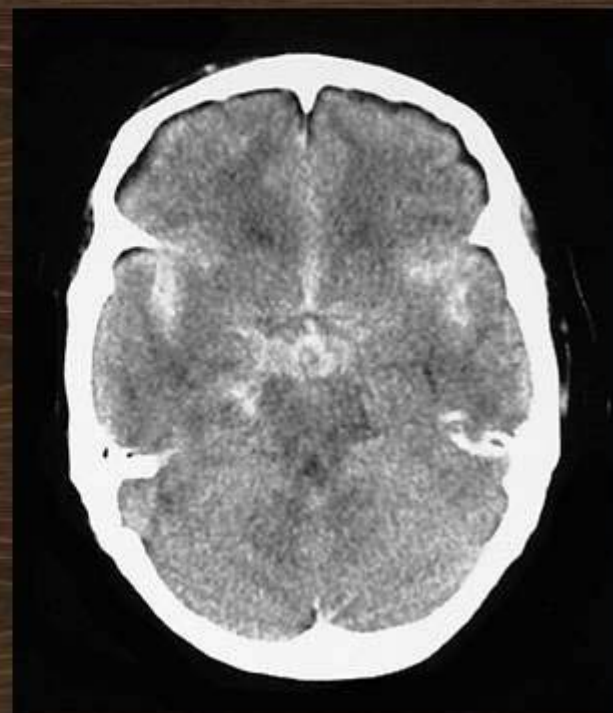
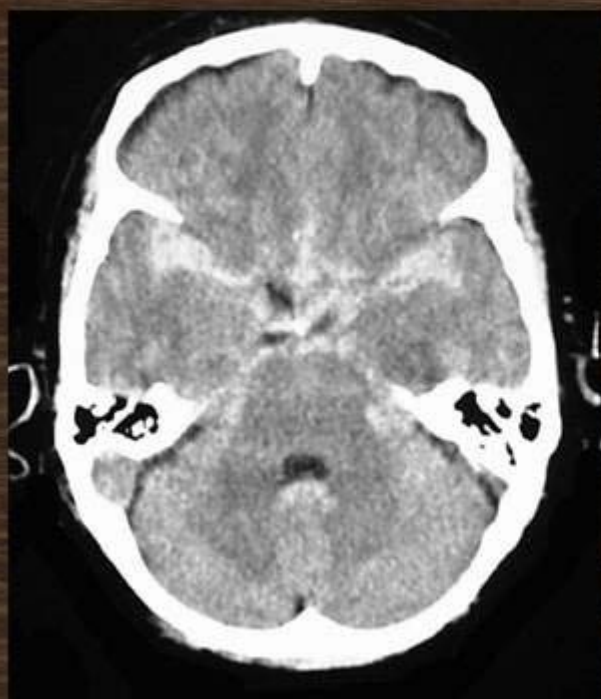
ら片麻痺や、認知障害が発症すること多いが、頭蓋内圧亢進症状が前面に出て、頭痛、嘔気が発症することも稀ではない。時に、若年者や小児にも見られ、雪道や、お酒によって転倒した後に、発症することが多いようである。確定診断は、CTを行えば容易で、治療は、局所麻酔下で行える。

三叉神経痛の中で、歯磨きや食事などにより誘発される、持続の短い顔面の電撃痛があり、脳血管が頭蓋内で三叉神経を圧迫していることにより起こる。この種の三叉神経痛に対しては、カルバマゼピンという薬が著効するが、効果が十分でない場合や眠気などの副作用で、服用できない場合は、微小血管減圧術という手術により、完治することができる。脳神経外科手術が痛みの治療を目的とする数少ない疾患であるが、時に脳腫瘍が血管を介して三叉神経を圧迫して同様な症状を呈していることもあり、注意を要する。

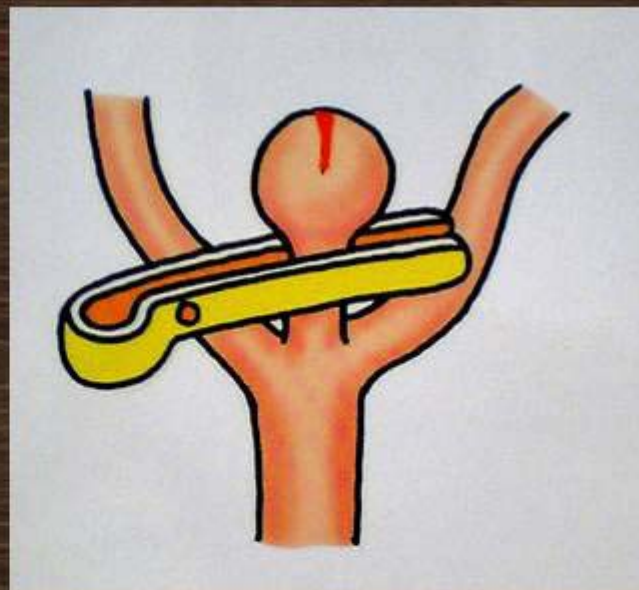
図の説明

右：脳動脈瘤は、脳底部の太い血管の分岐部にできたコブであり、先端部は壁が薄く、出血を起こすとも膜下出血になる。左：脳動脈瘤の頸部にクリップをかけることにより、出血を防ぐ。

「くも膜下出血」



「再出血の予防」

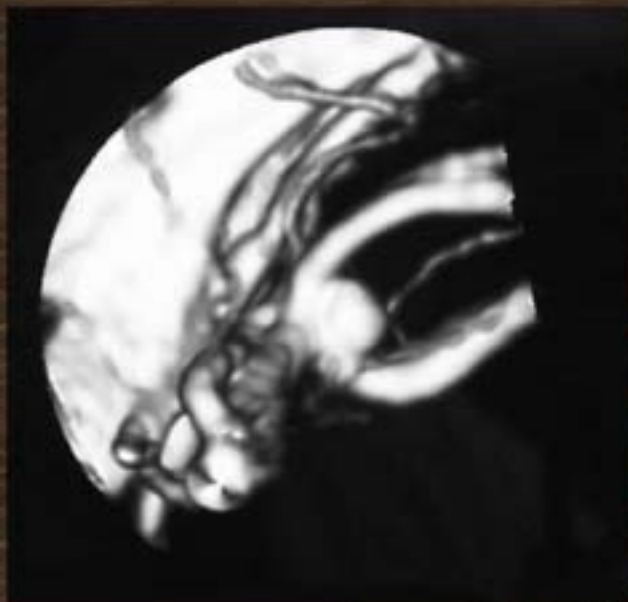


- 開頭術(クリッピング)
- 血管内治療(コイル)

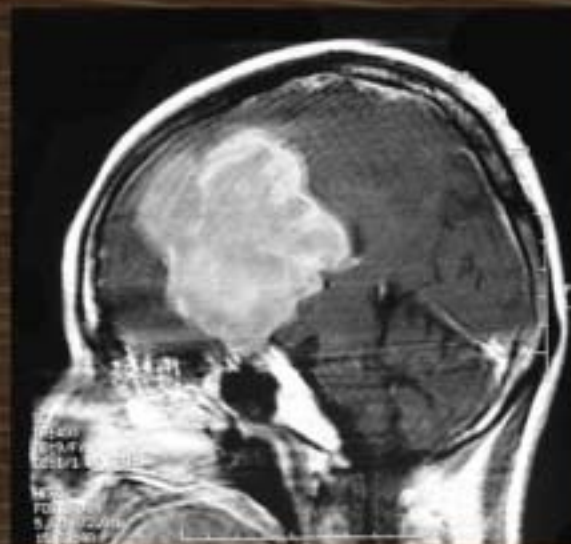
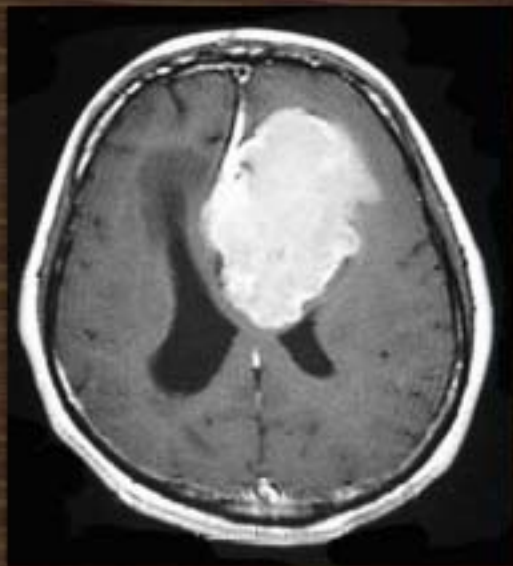
脳動脈瘤

術所見

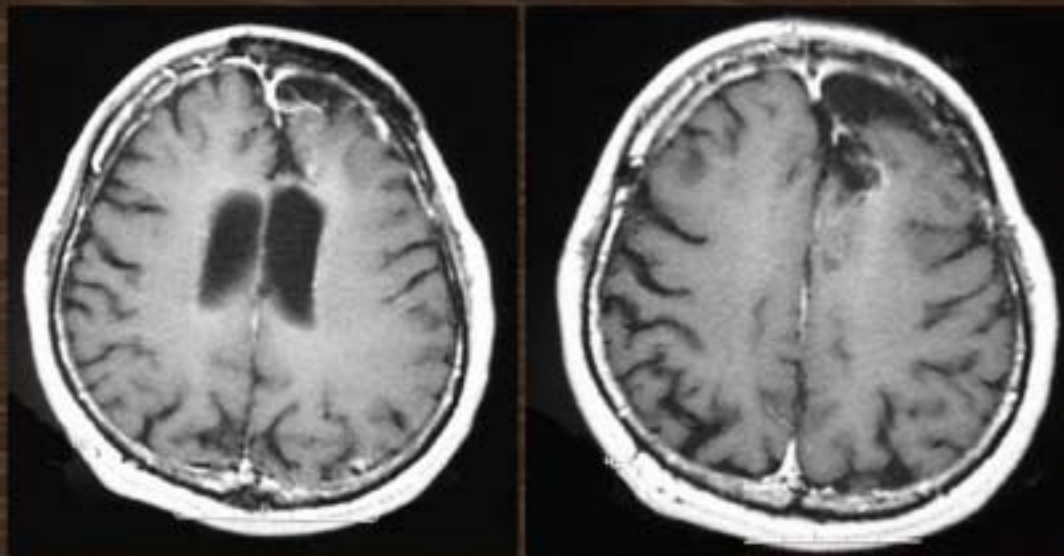
3D-CTA



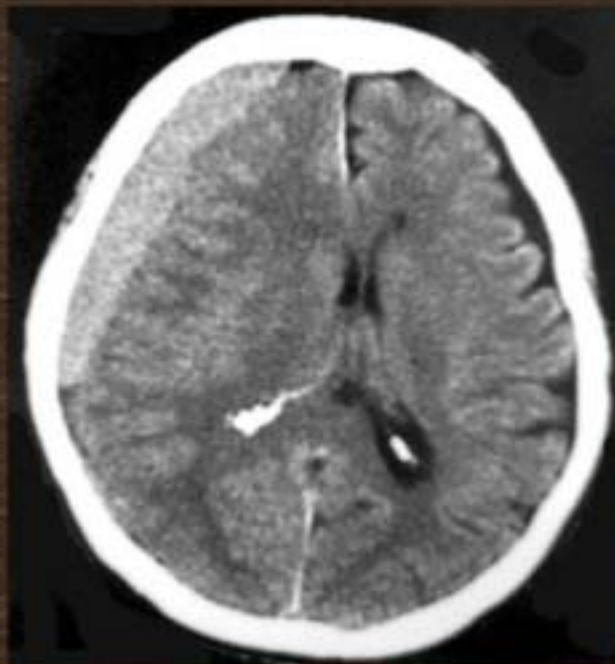
髓膜腫



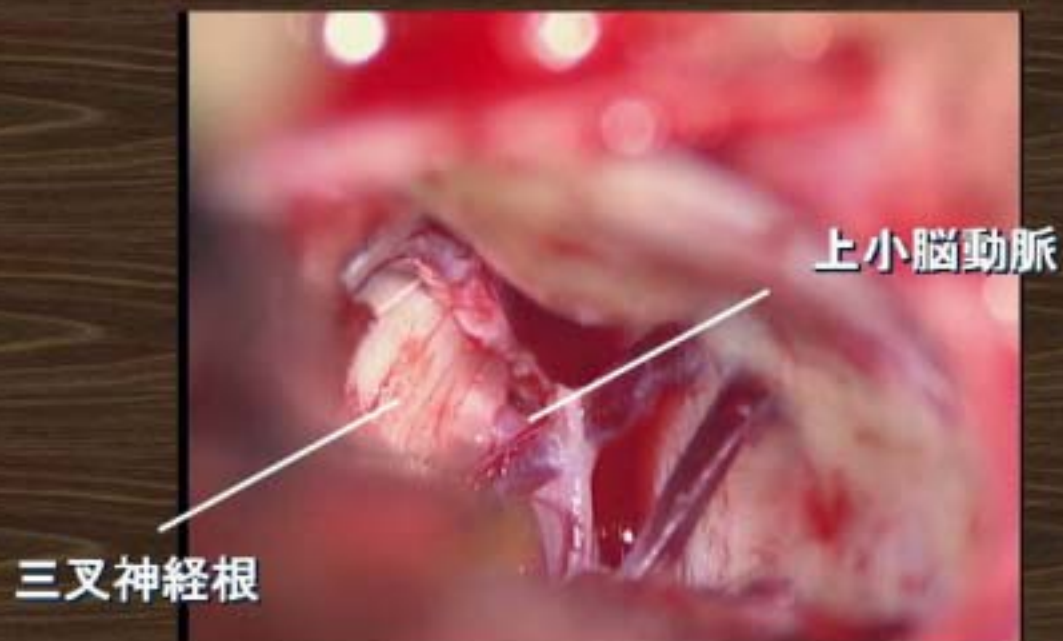
髓膜腫摘出後



「慢性硬膜下血腫」



「三叉神經痛」



「微小血管除圧術」

